

モダンな街“舞鶴”の魅力を発信するために

5月3日～7月6日まで赤れんがパーク(赤れんが5号棟)で開催され、好評のうちに幕を閉じた写真展「鋤田正義 SOUND & VISION」。
今回は、その発案者であるプロデューサーの立川直樹さんに、多々見市長が、赤れんがを生かしたまちづくりや今後の舞鶴の方向性について、これまでの豊富なエピソードと共に、その思いを伺いました。

- 2 特別対談
モダンな街“舞鶴”の魅力を発信するために
- 6 海フェスタ京都 練習帆船「日本丸」寄港クルーズ船 船内見学会のお知らせ
赤れんがハーフマラソン2014 大会サポーター・協賛企業募集中
第35代クイーンまいづる決定
平成27年成人式の日程決まる
- 8 TOPICS
- 9 市職員を募集
- 10 引揚記念館収蔵資料 国内候補選定を受けて寄せられた声を紹介
- 12 シリーズ 市政の「今」
公平・公正な市民負担を確保 債権管理のさらなる適正化を推進
- 14 市議会6月定例会
舞鶴市火災予防条例を改正
防災センターの一時休館
上級救命講習を開催
- 16 市政情報BOX
- 18 総合文化会館大ホールの改修
空き家情報バンク登録物件募集
市役所ロビーコンサート出演者募集
舞鶴こだわり土産品アイデアコンテスト
- 19 CAMERA EYE (カメラアイ)
- 22 連載コーナー
- 24 8月のカレンダー
- 25 保健センターからのお知らせ
- 26 お知らせ コーナー
- 32 まいづる元気人
まいづる花図鑑



多分、プロデューサーとして、職業として一番説明しづらい職業だと思えます。例えば、照明家としての場合は照明をやる、ピアノニストはピアノを弾く、じゃあプロデューサーって何をやるのって聞

かれたら、言葉では説明しにくいですが、一度一緒に仕事をした人には、プロデューサーは必要な仕事だと思ってもらえるのが自分ではすごく嬉しいし、成功したと思える瞬間でもあります。

市長 一流の原点というの、努力と才能でいうと、割合はどんなものなんでしょうか。

立川さん 努力も才能ももちろんですが、「誠実さ」が大切だと思っています。「うそをつかないこと」って言うこと変な言い方なんですけど、自分でこれはうまくいかないなとか、もうだめだと思ったときに、「やめる」という判断をできるかできないかだと思うんです。

これは、今度の「TAO」の野外コンサート(5月)に関連記事)にも言えることと、その日僕がやることは、ただ空を見ることだけ(笑)。前日までの準備がどれだけ完璧でも、当日天候を見て、判断するのは僕しかいないんですよ。やめる判断というのが、やる判断よりも難しいと思えます。



年齢とか階層とか言葉とか関係なく、今、世界中で支持されているグループですから、人を選ばず楽しんでもらえると思うんです。あと、TAOのメンバーの1人が、偶然にも舞鶴出身だということが分かって、とんとん拍子

舞鶴の魅力

市長 今回、舞鶴にいられてみて、来る前と来てからは、舞鶴のイメージは変わりましたか。

立川さん 実は、舞鶴にはこれまでも2・3回来ています。その時から、港町っていうのがすごく好きで、いいなあと思うんですけど、今回、ゆつくりじっくり舞鶴を見て、その理由が分かりました。やはり東郷平八郎



プロデューサー
立川直樹



舞鶴市長
多々見良三

赤れんがと、〇〇...

市長 設計だけではなく、全体を俯瞰的に見るのもプロデューサーの仕事なんです。8月9日にTAOの野外コンサートをしていただくわけですが、立川さんの中で、赤れんがとTAOがすごく合っているというふうなイメージがあったのでしょうか。

立川さん はい。最初赤れんが5号棟を見たときに、展示会をするには絶対いい場所だと思ったんです。それと同時に、ここで野外のライブをやったらカッコいいなと。すごく合ってるし。でも、ここで普通のロックバンドを持ってきて、そのバンドのファンしか来ないじゃないですか。TAOは、

に話が進みました。

市長 鋤田正義さんの写真展も5号棟でしていただきましたが、こちら赤れんがパークでやったらいいんじゃないかというのを以前から思っておられたんですか。

立川さん そうですね。鋤田さんのときも、一度ここで本物の写真なり、アート作品というのを、建物が一番生き生きするかたちで見せるようなことができたらいいなと思っただけですよ。

市長 なるほど。立川さんの思惑どおり、私も鋤田さんの写真展を観たときに、写真と赤れんががすごくマッチしている、とても感激しました。